

令和5年度公益財団法人北九州市どうぶつ公園協会事業計画

当協会は、「公園をはじめとした各種都市施設などの管理・運営事業を通じ、健康で豊かな市民生活の実現のほか、都市機能の増進に寄与すること」を目的に各事業を行う。

I 公益目的事業

1 到津の森公園管理運営事業

「市民と自然とを結ぶ『窓口』となる公園」をめざす。

- ① 自然環境や動物とのふれあいを通じて楽しみながら学習する「自然環境教育施設」とする。
- ② 市民や企業などから様々な協力が受け入れられる「市民が支える公園」とする。
- ③ 良質なサービスを継続的に提供するため「効率的な運営」を目指す。

(1) 施設運営事業

① 動物展示（展示数約80種、470点）

世界の動物ゾーン	草原の世界（キリン、シマウマ、ライオンなど） 林床の世界（セイロンゾウ、チンパンジーなど） 樹冠の世界（アカコンゴウインコ、フクロテナガザルなど） マダガスカルの世界（エリマキキツネザル、ワオキツネザル）
ふれあい動物園	ヤギ、レッサーパンダ、ウサギ、ロバなど
バードケージ	フラミンゴ、オシドリ、カモ、トキ類など
郷土の森林	タヌキ、ムササビ、フクロウなど
里のいきもの館	アオダイショウ、イモリ、ヒキガエル、魚類など

② ロバの騎乗

ふれあい動物園でロバの騎乗を行う。

(2) 実施事業

入園者に動物の生態等に関する学習機会を提供するため、夜間開園、林間学園等の事業を実施する。

主要イベント名	実施時期	事業内容
動物イベント	土日祝日	小動物とのふれあいや飼育スタッフによるガイド、動物たちの生態を見せるイベントを実施
ドリームナイト・アット・ザ・ズー	9月9日	障害のある方とその家族等を閉園後に招待し、動物園を気兼ねなく楽しんでいただくとともに動物のふれあいや動物に関するイベントを実施
夜間開園	年間18日	常設の夜間照明を利用し、ゴールデンウィーク、夏休み等に夜間開園を実施し、動物の夜の生態等を観察
林間学園 風の子学園	夏休期間中 (1期3日) 冬休期間中 (1期3日)	都心に位置する到津の森を舞台に自然を愛し、動植物に親しみ、友情を深めながら社会生活を身につけることを目的として開催
ミモザフェア	6.2.17 ～ 6.3.8	県内でも有数の数を誇るミモザをPR。動物にミモザをプレゼント等のイベントを実施。

(3) 動物ふれあい事業
動物の餌やりとふれあいを行う。

(4) 学習プログラム事業
遠足訪問校向けの学習プログラム業務を行う。

2 ひびき動物ワールド管理運営事業

動物とのスキンシップのルールを学ぶことを通して、自然の営みを大切にする「やさしさ」「たくましさ」を自ら学んでいくことをねらいとした体験学習施設とする。

施設運営事業

動物展示（展示数4種、約400点）

カンガルー	オオカンガルー
	シマオイワラビー
	ケナガワラルー
	フサオネズミカンガルー

II 収益事業

1 駐車場管理運営事業

駐車場需要に対処するため、北九州市の未利用地を有効活用して、月極駐車場及び時間貸駐車場の管理を行う。

区 分	箇所数	駐 車 場 の 名 称
小倉北区	10	田町、金田、菜園場東、末広、下到津、西港、 堅町、堅町第二、大手町東、城野駅北口
小倉南区	2	上石田、若園
八幡西区	7	夕原町、萩原電停前、陣原駅北口、本城駅前、 折尾駅南、黒崎駅北口、黒崎駅北口第二
戸畑区	3	戸畑駅北口、戸畑川代、川代第二
計	22	

2 遊戯施設等管理運営事業

(1) 遊戯施設等管理運営事業
到津の森公園におけるミニモノレール、サイクルモノレール、子供汽車、メリーゴーラウンド、観覧車などの遊具を運行する。

(2) 売店等事業
到津の森公園における売店、レストラン及び自動販売機を設置し営業を行う。